

## レジュメ

### 『出会いの場としての図書館と書店～連携と対話を目指して』

平成17年12月5日(月)日本図書館協会

ジュンク堂書店池袋本店 福嶋聡

- 一 . 「図書館より、もっと図書館」～ジュンク堂書店のあゆみ
  
- 一 . 「本もライフライン」～阪神大震災に学んだこと
  
- 一 . 書店の役割と方法；座り読み、喫茶、トークセッション～集客の工夫
  
- 一 . 「読者」とはあくまで能動的なもの～1階集中レジなどと絡めて
  
- 一 . 「劇場としての書店」と図書館～ひそかに目論んだこと；連携と分業、対話
  
- 一 . ぼくが図書館を利用する理由<sup>わけ</sup>
  
- 一 . 「読者」という「他者」

一.「棚づくり」の魅力と罨

一. 図書館について考える  
公共貸与権とパトロニズム

業務委託について；専門職とプロ意識

ビジネス支援図書館という発想

資料保管の場としての図書館

一. 高度情報化時代の書店と図書館

一. 書物に学ぶ

「著者は種おろしであり、出版者は苗をそだてる人、書店は摘みとった糧をひろく播き、古本屋と図書館は刈り入れて、整理し、保存する人である。そして、読者によって世界の貌は変わってゆく。」(小尾俊人「本は生まれる。そして、それから」)